

令和3年度健康づくりセミナー（行政担当者コース）研修実施報告書

1. 研修概要

【目的】 地域における健康づくりの知識と技術を身につけた指導者を養成し、健康づくり事業がより円滑に、また効果的に推進されることを目的とする。

【方法】 来場型研修及び、通信型研修（動画視聴）による複合型研修として開催した。

通信型研修はインターネット動画配信サイト（YouTube）に研修動画を掲載。

【期間】 来場型 令和3年11月4日（木）午後1時30分から午後4時30分まで

通信型 令和3年11月26日（金）午前10時から12月24日（金）午後5時まで

【対象者】

- (1) 愛知県内の市町村で保健衛生、高齢福祉、保険医療部門等の業務に携わる担当者とその管理職
- (2) 愛知県内の保健所で市町村支援業務に携わる職員
- (3) 愛知県後期高齢者医療広域連合、愛知県国民健康保険団体連合会の職員

【カリキュラムテーマ】

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（実践編）」について、担当者間の情報共有を図る

時間	内容
13:00	受付
13:30分 (15分)	【講義】 「愛知県における一体的実施事業の現状と課題、今後の推進に向けて」 愛知県後期高齢者医療広域連合 給付課 保健事業グループ グループリーダー 唐川 祐一 氏
13:45分 (15分)	【講義】 「KDB システムの活用法について」 愛知県国民健康保険団体連合会 総務部 保健事業課 課長補佐 柴田 和幸 氏
14:00分 (20分)	【事例紹介①】 「犬山市における一体的実施事業について」 犬山市健康推進課 犬山市民健康館 河村 佐久良 氏
14:20分 (20分)	【事例紹介②】 「日進市における一体的実施事業について」 日進市保険年金課 保健事業係 藤田 綾子 氏
14:40分	休憩
14:50分 (15分)	【事例紹介③】 「あいち健康プラザで実施した健康支援プログラムについて」 あいち健康の森健康科学総合センター 主事 井村 聡仁
15:05分 (75分)	【グループワーク】 「KDB ワークシートを用いた健康課題・対象者の絞込み、事業実施計画等」

本年度は「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（実践編）」をテーマに5人の講師に講義や事例紹介をしていただき、その後グループワークを行いました。

● 「愛知県における一体的実施事業の現状と課題、

今後の推進に向けて」

愛知県後期高齢者医療広域連合の唐川様より、事業の経緯をお話しいただき、高齢者の特性を踏まえた上で、各市町村の健康課題に優先順位をつけて取り組んでいく、リスクを小さくしていく考え方を学びました。愛知県広域連合は県全体の高齢者の課題を把握するとともに、市町村と連携して実際の事業を動かしていく役割があるため、具体的事業計画書例の提供等、各市町村の準備状況に合わせた支援についてご紹介いただきました。



● 「KDB システムの活用法について」

愛知県国民健康保険団体連合会の柴田様より、7月に開催した国保連合会主催の研修会に引き続き、KDBシステムを活用したワークシートのポイントや、他市町村事例、その他の研修会、KDBシステムの新機能についてご紹介いただきました。一体的実施事業を考える上で、市町村データをシートに並べ、上下関係を意識して読み解くことの重要性も学びました。



● 「犬山市における一体的実施事業について」

犬山市の河村様より、犬山市におけるの高齢者の健康課題、現状や課題、コーディネーター保健師として取り組んだこと、関係部署間の連携、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ事業の具体的事例をご紹介いただきました。犬山市独自のフローチャートや評価指標も紹介いただき、大きなヒントをいただきました。



● 「日進市における一体的実施事業について」

日進市の藤田様より、日進市の健康課題である糖尿病性腎症重症化予防に着目して、庁内推進体制、市内かかりつけ医と連携した展開について事例紹介をいただきました。連携体制の構築については、多くの市町村が課題と感じているテーマであり、現状把握と基盤づくり、検討会設置、医師会協力依頼、かかりつけ医との実際の連携までの段階的な体制構築について学びを深めました。



● 「あいち健康プラザで実施した

健康支援プログラムについて」

あいち健康プラザの井村様より、昨年度実施した健康支援プログラムの具体的支援内容やツール、効果評価についてご紹介させていただきました。



- 「KDB 活用ワークシートを用いた健康課題・対象者の絞り込み、事業実施計画等」

グループワークでは、来場型研修の事前課題として持参いただいた KDB 活用ワークシートを用いて、情報共有と優先課題の明確化を行いました。各市町村において、健康課題が整理されているか、優先的に取り組む課題と事業計画は結びついているかをディスカッションしました。グループで話し合った内容を全体に向けて発表し、共有しました。



2. 申込状況・視聴回数について

【申込者数】 来場型 17 人 通信型 94 人

【所属別 申込者数】

	保健所	市町村	その他（国保連・広域連合など）
来場型	0 人	16 人	1 人
通信型	10 人	78 人	6 人

【職種別 申込者数と割合】

	保健師	管理栄養士	事務職	歯科衛生士	その他（未記入含む）
来場型	13 人 (76.5%)	0 人	3 人 (17.6%)	0 人	1 人 (5.9%)
通信型	62 人 (66.0%)	9 人 (9.6%)	17 人 (18.1%)	2 人 (2.1%)	4 人 (4.3%)

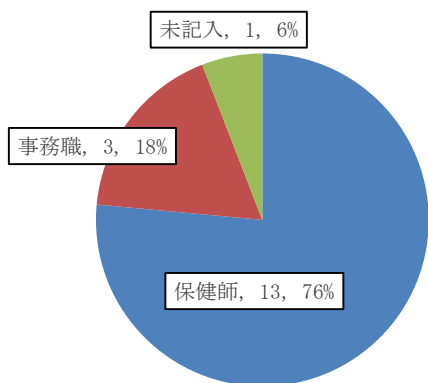
【通信型動画視聴回数】 177 回

3. アンケート結果について

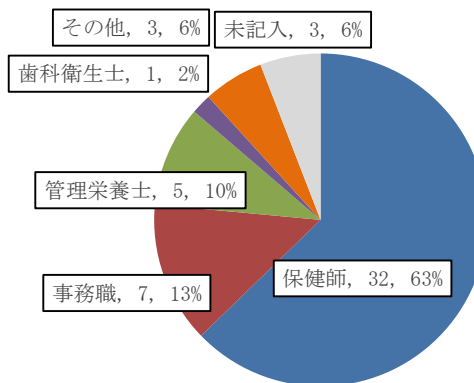
【回収状況】 来場型 17 名から回収（回収率 100%）

通信型 51 名から回収（回収率 54.3%）

1 回答者の職種 来場型

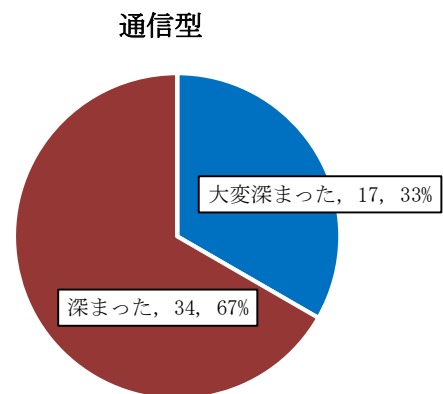
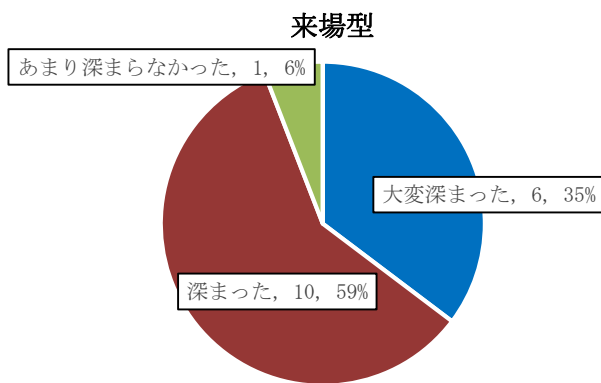


通信型

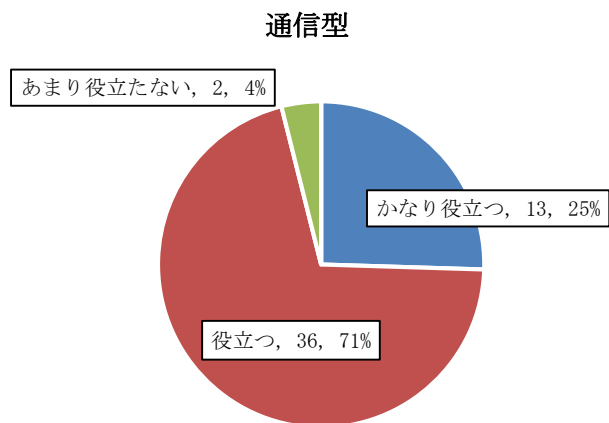
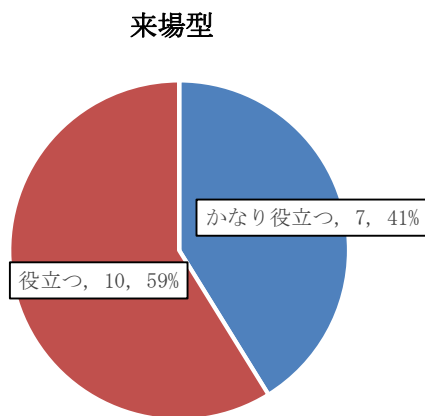


2 セミナー全体を通して

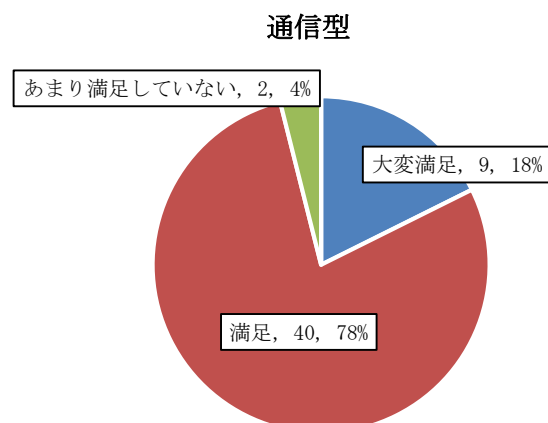
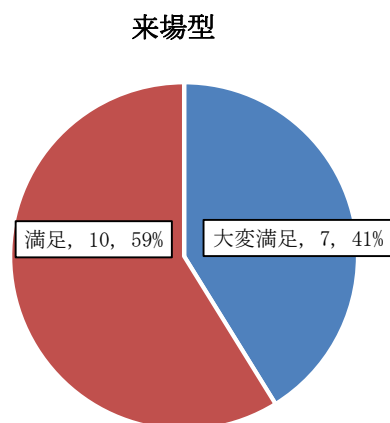
(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施についての知識が深まりましたか？



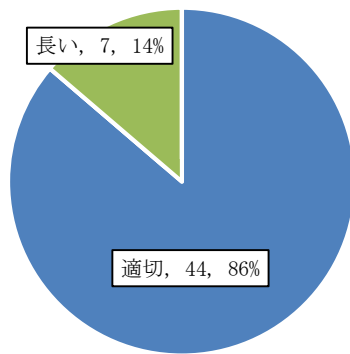
(2) 今後の業務に役立ちますか？



(2) 満足度はいかがですか？



(3) 講義の時間（全体で約3時間の講義）はいかがでしたか？ ※通信型のみ



4 今後の事業への活用について（来場型・通信型）

今回のセミナーを受講して、貴組織としてどんなことから始めてみようと思いますか？（自由記載）

<庁内連携等に関すること>

- ・他課の既存の会議や活動へ保険医療課として参加または、共同実施できそうか検討と打診
- ・高齢者の事業は担当課が多く市全体として取り組むことが必要。
- ・他課と連携し一体的に取り組む会議を開催する。
- ・医療機関との連携について、日進市の取り組みが参考になりました。今後、医師会や医療機関の理解を得られるように健診結果の分析などの根拠データを準備して、話をしていきたい。
- ・関係各課と今回まとめた現状と課題、解決策について共有し、今後の計画を立てる。
- ・まずは関係各課と連携して、データ分析を進めていきたい。

<KDB システム等に関すること>

- ・課題を整理するためにも、KDB ツールで対象者の概数把握をしてみようと思いました。
- ・個人的に現状把握の重要性が理解できたので、分析から丁寧にしていきたいと思いました。
- ・目的の再確認。そのために、地域の健康課題の明確化。
- ・KDB や JAGES からみられる健康課題の抽出をまず行ってみたい。
- ・通いの場のデータを KDB に反映していきたい。

<事業や取り組みに関すること>

- ・「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン」を読むことから始める。
- ・日進市の事例で、どのように医師会を巻き込んでいくかという工夫点が非常に参考になりました。この事例を参考に、患者本人にとっても、医療機関にとっても「やってよかった」と思える事業づくりをしていきたいと思います。
- ・他市の状況をお聞きし、当市にも活用できる点を参考とさせていただきたい。また、今は活用できなくても、目指すところを定め、どうしたら活用できるのかについて考えていきたい。
- ・本市においては、事業を行う際に健診時の質問票を活用しているが、健診時以外にも通いの場でも回収し、事業を行う為の対象者の母数を増やしていきたい。
- ・情報収集のための活動（アンケートの実施や訪問など）
- ・犬山市の事例を参考にして後期高齢者となる直前の対象者に働きかけられる事業を考えたい。

- ・自分の状態を視覚的数値的に知ってもらい、その上で適切な事業に結び付ける、ということの対象者を絞り込むところから考えていきたいです。
- ・現在健康課題を抽出中ですが、事例やグループワークの話をぜひ参考にしていきたいです。
- ・ハイリスクアプローチやポピュレーションアプローチの実施に時間をかけ、分析が丁寧にできていなかったもので、年明けから実施した評価とともに経年的な分析をまずしたいと思いました。
- ・もう一度課題整理をしたいと思った。日々の業務に追われて目的がブレている気がした。他の市町はしっかり考えていてすごいと思った。もう一度初心に戻りたいと思った。
- ・健康課題の抽出はある程度進められてはいるが、優先順位をつけることができていないので本市の高齢者に対する支援として、最優先に取り組むものを検討すべきと感じました。

5 今回のセミナー全体に対して、ご感想やご意見がありましたら、ご記入ください。(自由記載)

(9) 受講者の感想 (自由記載から一部抜粋)

(来場型)

<カリキュラムに関すること>

- ・様々な自治体の状況によって色々なステージにいることが理解できた。試行錯誤を色々な自治体みせていただいただけると学びになると感じた。
- ・グループワーク含めとても参考になりました。
- ・犬山市の事例を参考に事業を進めていこうと思います。

<研修方法に関すること>

- ・来場型で参加できて本当に良かったです。貴重なお話がたくさん聞け、参考になりました。ありがとうございました。
- ・他市の方、すでに一体的事業をとりくまれている方から直接お話できて大変貴重なお時間でした。ありがとうございました。
- ・まだまだ難しいと思いますが、対面でのグループワークがもっと行いたいと思います。
- ・各市町村の現状や苦慮していること等、生の声がきけたのでとても参考になりました。

<その他>

- ・コーディネーターとして他市町村の方と情報交換する機会がなかったので、沢山のヒントとエネルギーをもらいました。切り口は様々で市町村毎にちがって良いということも分かりました。

(通信型)

<カリキュラムに関すること>

- ・初心者にもわかる内容を実施してくださるとありがたいです。
- ・入職してから半年が経ちやっと現状が理解できてきた。具体的には、今回の一つ目「愛知県における一体的実施の現状と課題、今後の推進に向けて」の内容をもう少し時間を割くなど かみ砕いて説明していただけると嬉しいです。基礎が理解できていないと応用編を聞いても表面的理解になってしまうため。
- ・後期高齢者医療保険の担当課ではないので KDB データをダウンロードして分析することはできませんでしたが、事前課題により問題抽出の方法は理解できました。
- ・他市の事例等、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・保健事業と介護予防を一体的に実施するにあたり、様々な課と連携する必要性を感じた。
- ・実際に事業に関わっていないこともあり、具体的な質問等できなくて残念でしたが他の自治体の先行事例

はとても勉強になりました。

<研修方法に関すること>

- ・音声が小さく、聞き取りにくいところがありました。
- ・このようなハイブリッド型の研修は大変ありがたいです。
- ・ピンポイントで日程を設定されると既存事業と重複した際に参加できませんが、閲覧期間を 1 か月程度設けていただけなので、複数の担当で研修を受けることができる。今後も続けていただけると嬉しいです。
- ・パソコンの音量最大でもやや聞き取りづらいところがありました。
- ・他事業と重なり、会場に行くことはできなかつたため、今後、意見交換や指導等直接受けられる機会があると良いと思う。
- ・動画で視聴できてよかったが、音声の差が大きく戸惑いました。
- ・視聴する時間を捻出するのが大変だったため、もう少し視聴期間が長いと助かると思いました。
- ・他の事業と重なり来場型研修に参加できなかったのは残念でした。

<その他>

- ・日ごろの活動にエビデンスが加わり、やる気が上がりました。
- ・グループワークで顔を合わせて意見交換できるのはとても意義があると思います。また機会がありましたら、来場型研修に参加したいです。

7 次回のセミナーについて、テーマにしたい、深めたい内容等ご記入ください。(自由記載)

(来場型・通信型)

- ・KDB の操作方法について、より詳しい講習を聞きたい。
- ・一体的実施の開始支援に重点を置いた研修が多いせいか、すでに開始している自治体にとってはどの研修内容も同じ内容であるような印象を持ちました。今後開始した自治体も増えていくことから、継続実施していくことを前提にした研修が増えていくことを期待します。
- ・引き続き、一体的実施の事例紹介をお願いします。
- ・重複調剤や重複受診に対し、他市町村がどのような取り組みをしているか。
- ・ICT を活用した保健指導等についての事例紹介。
- ・県内で導入し始めている市町があると聞いています。工夫点や課題などを聞いてみたいです。
- ・計画時点での評価計画、事業実施後の評価などを具体的に学べる機会があると良いと思う。
- ・市全体の健康課題や地区ごとの健康課題を見出し、それに基づく取り組みを考えていくノウハウを知りたいです。
- ・企画調整担当に特化した内容を希望します。